

力合わせて「美笑楽満」

笑顔にあふれた文化祭

卒業生でオンライン・古田さんのアートに見守られ



昨年11月2日(土)に文化祭が行われた。当日はどの生徒もワクワクしているのと同じく、緊張している様子も見られた。メインイベントであるクラス対抗の合唱コンクールでは、音楽の授業や文化祭準備期間の放課後練習などで各クラスが工夫して練習してきた成果を、全校

生徒や観に来られた保護者、地域の方々に、ステージ上で思う存分披露していた。午前の部の最後には、サブライム・ゲスト登場!パリオリンピック奏道競技メダリストの阿部一二三さんが来校され、会場全体が熱気に包まれた。午後の部では、生徒および先生による有志発表があり、ダンスや歌が披露され、文化祭を、一気に盛り上げた。閉祭式の合唱コンクールの結果発表では、最優秀賞クラスの合唱曲が流される。生徒

生徒や観に来られた保護者、地域の方々に、ステージ上で思う存分披露していた。午前の部の最後には、サブライム・ゲスト登場!パリオリンピック奏道競技メダリストの阿部一二三さんが来校され、会場全体が熱気に包まれた。午後の部では、生徒および先生による有志発表があり、ダンスや歌が披露され、文化祭を、一気に盛り上げた。閉祭式の合唱コンクールの結果発表では、最優秀賞クラスの合唱曲が流される。生徒

進化続ける体育祭

本気で!アツすぎ!

9月、法勝寺中学校では毎年体育祭がある。A組は赤組、B組は青組に分かれ、それぞれ3年生



みんなで!力を合わせて1位を目指す

を中心として夏休み前から準備や練習を行っている。体育祭は、生徒自身が企画から運営まで通して創り上げており、毎年種目にも工夫が凝らされている。体育祭の前には意見箱を設置し、生徒会執行部だけではなく全校生徒の意見を取り入れているため、より「みんなが」楽しめる体育祭へと発展している。今年の「bring bang ボール(玉入れ競技)」や「綱の子(借り人綱引き競技)」などのように、流行と運動を合わせた新競技が登場するのは法中体育祭の魅力の一つだ。法中の体育祭でいちばん大切なことは、誰もが楽しむことだ。法中は競技に励む生徒だけでなく、先生方、応援して下さる保護者の方々も一体となっていた。今年の体育祭もみんなが本気になって汗を流すことができた。(竹本菜白)

クラスが一つに球技大会

最高の一体感



力強いアタック

3年生 【修学旅行】

思い出いっぱい、心に刻んで



リモートの生徒も一緒に はいチーズ!

昨年9月18〜20日に総勢約60名で京都大阪方面へ修学旅行に向かった。初日はバスで4時間の京都エキスカンション事前

2年生 【職場体験学習】

地域で「仕事」学ぶ



一生懸命頑張っています

法勝寺中学校では2年生が職場体験学習を行う。生徒がそれぞれ直接地域の職場を訪れ、4日間の体験を通して学習する。

体験できる職種は多く福祉・医療・公共・サービス・生産・製造など幅広い職種の事業所に協力いただいている。働いている方々や利用者の方々の触れ合いや交流を通してコミュニケーション能力や社会的スキルを身に付け、人間関係の大切さを実感することができている。そこで得たものは今後の学校生活、人生に大きく役立つことになる。職場体験を終えた生徒はみな満足そうな表情をしていた。職場体験は、地域の温かみも感じられる素晴らしい取り組みとなっている。(乗本悠太)

1年生 【大山研修】

クラスの団結深まる



作ったピザを頬張る生徒たち

昨年4月19日、法勝寺中学校1年生の大山研修が行われた。の行事は、毎年新しいクラスの

団結力をいっしょと違つ環境で深め、さまざまな活動を通してお互いの良さを知ることを行なうとして、4月に中学校に入学した新1年生で実施している。今回の研修では、恒例である野外オリエンテーリングに加え、大縄跳びなども行われた。野外炊事は生徒たちが自分たちで焼いたピザを口いっぱい頬張っていた。参加した1年生の男子生徒は「楽しかった。人との協力が増えてクラスがさらに明るくなった」と話していた。(野口知恵)

成長後押し学校の取り組み 生徒主体と自然とのふれあい

私たちの通っている法勝寺中学校は、生徒主体の学校を目指し、さまざまな取り組みを行っている。生徒を迎える生徒昇降口には「ぶちハッピー」という掲示板が設置されている。これは全校生徒と職員が小さな幸せを見つけ、それを共有する取り組みで

ある。この活動を通じて、小さな幸せを見つける習慣を身に付け、自分で自分を幸せにする力を育むことを目的としている。

また、「そうじコンクール」、「あいさつチャレンジ」、「しおりコンテスト」、「姿勢タイム」などの委員会

活動や人権感覚を磨く「人権弁論」など、生徒の成長を支援する多くの取り組みが行われている。さらに、学校施設周辺には緑が広がり、法勝寺中学校は豊かな自然に恵まれている。こうした自然の包容力に身を委ねることができるのも生徒が安心して生活できる要因の一つとなっている。(藤原そよ花)

法勝寺中新聞

学校概要



【学校名】 南部町立法勝寺中学校
【所在地】 西伯郡南部町馬場630番地1
【校長名】 船越 路央
【生徒数】 167人
【校訓】 「自主」「責任」「明朗」



【学校教育目標】 「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」
【学校テーマ】 「喝采が響きあい、地域に愛される法勝寺中学校」
【めざす生徒の姿】
・夢を抱き、人と調和しながら主体的に行動できる生徒
・夢を実現する。自分の可能性を信じてひたむきに努力し、進路を自己決定できる生徒
・「自律する」他社と協働しながら何事にも意欲的に挑戦し、社会に貢献する生徒



【沿革】 昭和22年に五ヶ村組合立法勝寺中学校として現在の地に開校し、昭和30年に西伯町立法勝寺中学校を経て、平成16年に現在の南部町立法勝寺中学校と校名変更した。法勝寺川の桜並木を眺める高台に本校は位置し、すぐ近くに毛利・尼子の合戦で知られる法勝寺城址(じょうし)がある。春の桜の季節には、多くの生徒が桜の花のトンネルをくぐって登校している。平成23年に法勝寺中学校地域協働学校運営協議会としてコミュニティ・スクールに指定され、平成31年には法勝寺中学校区コミュニティ・スクールを開始した。令和元年に西部地区中学校駅伝競走大会にて史上2校目となるアベック優勝を果たした。

生徒会執行部が作った新聞です



みんなで見つけた「ハッピー」